

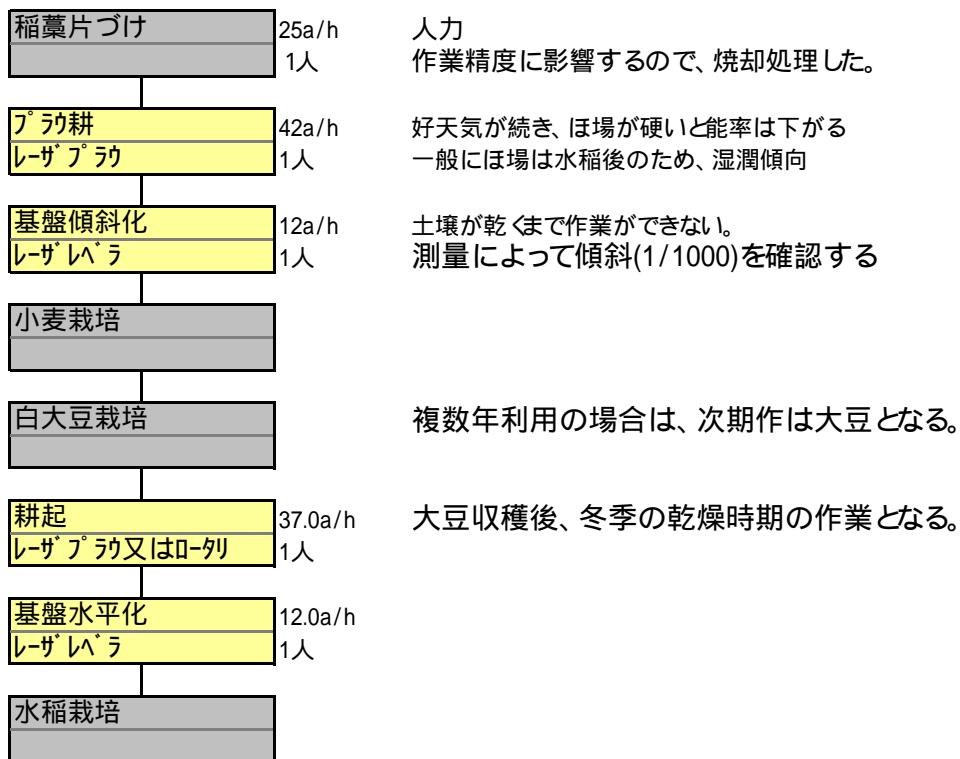
## 基盤傾斜化と復田作業工程

月日	作業名	作業機名・大きさ	作業時間 (h/ha)	作業人員 (人)	述べ作業時間 (h/ha)	備考
稻収穫後	プラウ耕	クローラトラクタ レーザープラウ	2.40	1	2.40	補助者が1名必要 1/1000傾斜
プラウ耕後	レバ作業 傾斜化	クローラトラクタ レーザーレバ	8.55	1	8.55	補助者が1名必要
			10.95		10.95	
レバ後 冬作	小麦 施肥播種	ロータリ 耕幅2..3m				栽培管理は省略
夏作	大豆 施肥播種	ロータリ 耕幅2..3m				栽培管理は省略
大豆収穫後	耕起	トラクタ ロータリ又 はプラウ	2.70	1	2.70	補助者が1名必要
ロータリ耕後	レバ作業 水平化	クローラトラクタ レーザーレバ	8.33	1	8.33	補助者が1名必要
			11.03		11.03	

平均値 補助者はセッティング、レベル調整時のみ必要  
レバの作業速度は、重作業の平均値を用いた。

## 基盤傾斜化と水平復帰作業工程 (専用機械を利用した)

### 圃場内作業 ]



合計

傾斜化 10.95 h / 10a

水平復帰 11.03 h / 10a

### 補足

クローラーによる傾斜化は、転作期間(1年)内に傾斜化ほ場造成を行って

小麦・大豆の安定収量を確保するのが、基盤傾斜化の目的である。(農工研指導)

コスト面からは複数年の転作利用が好ましいが、課題を明らかにするために、単年利用で試験している。